

第3学年「社会」（歴史的分野）

1 学習内容と使用する教材

		単元名	学習内容	使用する教材
1 学 期 ／ 2 学 期	日本 の開 国と 近代 の歩 み	明治維新	・新政府の成立 ・明治維新の三大改革 ・富国強兵と文明開化 ・近代的な国際関係 ・国境と領土の確定 ・領土をめぐる問題の背景 ・自由民権運動の高まり ・立憲制国家の成立	・教科書 ・授業プリント ・ワーク ※ワークは授業以外にも 家庭学習で活用しまし よう。
		第一次世界大戦 と日本	・第一次世界大戦 ・ロシア革命 ・国際協調の高まり ・アジアの民族運動 ・大正デモクラシーと政党内閣の成立 ・広がる社会運動と普通選挙の実現 ・新しい文化と生活	
	二度 の世 界大 戦と 日本	世界恐慌と日本 の中国侵略	・世界恐慌とフロック経済 ・欧米の情勢とファシズム ・昭和恐慌と政党内閣の危機 ・満州事変と軍部の台頭 ・日中戦争と戦時体制	
		第二次世界大戦 と日本	・第二次世界大戦の始まり ・太平洋戦争の開始 ・戦時下の人々 ・戦争の終結	
	現代 の日 本と 世界	戦後日本の発展 と国際社会	・占領下の日本 ・民主化と日本国憲法 ・冷戦の開始と植民地の解放 ・独立の回復と55年体制 ・緊張緩和と日本外交 ・日本の高度経済成長 ・マスメディアと現代の文化	
		新たな時代の日 本と世界	・冷戦後の国際社会 ・変化の中の日本 ・持続可能な社会に向けて	

2 評価について

- (1) 基本的な考え方…下の表に示した3つの観点による評価を基本として、学習の目標がどれだけ実現できたかによって評価します。また、一人ひとりの良い点や可能性、進歩の状況なども積極的に評価します。そのため、学習前や学習過程の中にも評価の場面を設け、生徒の変容を計画的、継続的に把握します。
- (2) 具体的な評価の方法…定期テスト・小テストや観察、作品やレポートの分析などを組み合わせて評価します。また、生徒自身が学習を振り返り、次の学習や総合的な学習の時間、日常生活に生かせるよう自己評価能力の育成にも努めます。

知識及び技能	歴史的事象に対する基本的な考え方、社会的事象の意義や役割、相互の関連などを理解し、その知識を身につけている。 歴史的事象から課題を見だし、社会的事象の意義や役割、相互の関連などを多面的・多角的に考察し、様々な考え方を踏まえ公正に判断する。
思考・判断・表現	歴史的事象に関する資料を収集し、情報を適切に選択して活用するとともに、追究し考察した過程や結果を図表化したり報告書にまとめたりして、発表している。
主体的に学習に取り組む態度	歴史的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、広い視野に立ってよりよい社会を考え公民としての自覚をもって責任を果たそうとしている。

第3学年「社会」（公民的分野）

1 学習内容と使用する教材

時期		単元名	学習内容	使用する教材
1 学期 ／ 2 学期 ／ 3 学期	代 社 会	現代社会の特色と私たち	・持続可能な社会に向けて・グローバル化 ・少子高齢化・情報化	・教科書 ・授業プリント ・ワーク ※ワークは授業以外にも家庭学習で活用しましょう。
		私たちの生活と文化	・私たちの生活と文化の役割 ・伝統文化と新たな文化の創造・多文化共生を目指して	
		現代社会の見方や考え方	・社会集団の中で生きる私たち・決まりを作る目的と方法 ・効率と公正・決まりの評価と見直し	
	私 た ち と 政 治	人権と日本国憲法	・人権の歴史と憲法・日本国憲法とは・国民主権と私たちの責任平和主義の意義と日本の役割・基本的人権と個人の尊重	
		人権と共生社会	・平等権 ・自由権 ・社会権 ・人権を確実に保障するための権利 ・「公共の福祉」と国民の義務	
		これからの人権保障	・新しい人権 ・グローバル社会と人権	
	私 た ち と 経 済	現代の民主政治	・政治と民主主義 ・選挙の意義と仕組み ・政党の役割 ・マスメディアと世論 ・選挙の課題と私たちの政治参加	
		国の政治の仕組み	・国会の地位と仕組み・法律や予算ができるまで・行政を監視する国会・行政の仕組みと内閣・行政の役割と行政改革・裁判所の仕組みと働き・裁判の種類と人権・裁判員制度と司法制度改革・三権の抑制と均衡	
		地方自治と私たち	・私たちの生活と地方自治 ・地方自治と仕組み ・地方公共団体の課題 ・住民参加の拡大と私たち	
	地 球 社 会 と 私 た ち	国際社会の仕組み	・国際社会における国家・領土をめぐる問題の現状・国際連合の仕組みと役割・地域主義の動き・新興国の台頭と経済格差	
		さまざまな国際問題	・地球環境問題・資源、エネルギー問題 ・貧困問題・新しい戦争	
		これからの地球社会と日本	・世界と協力する日本 ・より良い地球社会を目指して	

2 評価について

- (1) 基本的な考え方…下の表に示した3つの観点による評価を基本として、学習の目標がどれだけ実現できたかによって評価します。また、一人ひとりの良い点や可能性、進歩の状況なども積極的に評価します。そのため、学習前や学習過程の中にも評価の場面を設け、生徒の変容を計画的、継続的に把握します。
- (2) 具体的な評価の方法…定期テスト・小テストや観察、作品やレポートの分析などを組み合わせて評価します。また、生徒自身が学習を振り返り、次の学習や総合的な学習の時間、日常生活に生かせるよう自己評価能力の育成にも努めます。

知識及び技能	個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めているとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめている。
思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会にみられる課題について公正に判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	現代の社会的事象について、国家及び社会の担い手として、現代社会にみられる課題の解決を視野に主体的に社会にかかわろうとしている。

